



童謡のふる里おおとねの子育て

大和町長 柿沼トミ子



この広報が皆様のお手元に届くころには、すでに新しい加須市となっていることと思います。多くの方々のご理解ご協力によりまして、合併が進展いたしましたことについて、深く感謝申し上げます。

さて合併もさることながら、昨年は、わが町政を預かりまして初めて予算を編成し、町民の福祉実現に努めてきた1年でした。特に子育てについては、子育て支援センター「ぴっぴ」を開設いたしまして、現在8千人を超える利用をいただいております。また、こんにちは赤ちゃん事業では、出産されたすべての家庭を保健師が訪問して、すこやかに生育することを支援しております。その他にも、不妊治療費の助成や子どもの活動・支援団体の施設利用減免など、新たに取り組んできた

ところでございます。

こうした事業は、私が掲げます「あったか子育て優しい老後」のスローガンとともに、童謡のふる里にふさわしいまちづくりのため、全力で取り組んで参りました事業でございます。私は、新しく加須市となりまして、みなさまとともに進めて参りました大和町の子育て支援は、その「童謡のふる里おおとね」の精神とともに、新市に引き継いでいかななくてはならないものだと考えております。

母子愛育会におかれましては、高い加入率と活動的な会員のみなさまにより、大きな成果を納めております。どうぞ新市になりまして童謡のふる里を忘れることなく、ご活躍されますようお願い申し上げます。



脳年齢 測定中！

愛育会はヘルスポランティア♡

小川 久子



例年になく酷寒が続きましたが、合併と云う新しい春の足音が近づく今日この頃です。

篠塚前会長の後、愛育会連合会長に就任致しました小川です。よろしくお願い致します。

恩賜財団母子愛育会は、昭和9年3月、母と子の保健と福祉の向上を目的に設立されました。戦後の荒廃の時代から高度成長を経て保健行政の基本法が制立され、

保健師より愛育会へのご指導をいただきながら、現在は地域に根差した健康作りを目的とした、ヘルスポランティアです。

少子高齢化が進む中、「愛育会と遊ぼうよ」を合言葉として子育て支援を実践し、可愛く小さな友達がいっぱい出来、ワクワクしている所です。尚、核家族化が進む中一人暮らしや寝たきりのお年寄りへの声かけや訪問は、皆さまに大変喜ばれて居ります。



愛育会とともに…

～お世話になりました～

篠塚 妙子



気持で一杯です。思えば会長として愛育会一

二月は梅月。梅は寒冷に耐え、美しい花と香りを漂わせる学問の神、天神様の花です。人の生き方もさもあらんと思いつつ、会長22年。恩賜財団母子愛育会の全国表彰という身に余る栄誉を戴き、町当局を初め住民の皆様への感謝の

筋「この道より我を生かす道なし、我この道を行く」とし、愛育会全戸加入の推進。組織の活性化を図り、住民健診の勧め、子育て支援への取りくみ、高齢者への声かけと三世交代交流・健康まつり。終わりのない夢のある愛育会です。「美しく生きる為に皆で守る健康」をモットーに、愛育会の灯を増々燃やし、名誉会長としてこれからも素晴らしく生きようと思ひます。